

2001 年度 第 1 回情報化委員会議事録

1. 実施日時・場所

2001 年 6 月 8 日(金) 13:00 ~ 15:40 (15:40 より相互協力委員会との合同委員会を実施)
金城学院大学図書館 4 階会議室

2. 出席者

議長 南山大学(笹山 達成)
記録 愛知工業大学(津田 朋美)

愛知大学(三浦 文博)、愛知工業大学(津田 朋美)、岐阜聖徳大学(森本 真)、金城学院大学(西尾 十和子)、
椋山女学園大学(河路 峰雄)、中京大学(春日井 正人)、中部大学(古田 明彦)、豊田工業大学(扇 美穂)、
豊橋創造大学(川上 雅子)、南山大学(笹山 達成)、日本福祉大学(時實 育代)

3. 議題

- 3.1 2001 年度委員会開催日程について
- 3.2 2001 年度活動計画ならびに予算について
- 3.3 東海地区協議会ホームページについて
- 3.4 委員役割分担について
- 3.5 システム・ネットワーク化情報交換会について
- 3.6 システム・ネットワーク化アンケートについて

4. 議事内容

議事に先立ち、委員の自己紹介を行った。続いて、東海地区情報化委員会のこれまでの経緯や、その役割について、委員長より説明があった。

4.1 2001 年度委員会開催日程について

年 6 回開催し、場合によっては臨時委員会(昨年度は 2 回開催)も開催する。第 4 回以降は、第 2 回の委員会で日程を確定する。第 5 回については、12/7、14 で検討する。

第 1 回 :	6 / 8 (金)	金城学院大学	合同委員会
第 2 回 :	7 / 12 (木)	岐阜聖徳大学	
第 3 回 :	9 / 28 (金)	南山大学	合同委員会
第 4 回 :	11 /	中部大学	
第 5 回 :	12 /	愛知工業大学	システム・ネットワーク化情報交換会
第 6 回 :	2 /	愛知大学(豊橋)	合同委員会

* 第 3 回については、合同委員会で調整した結果、9 / 26 (水)に変更、決定した。

4.2 2001 年度活動計画ならびに予算について

4.2.1 活動計画

1. 東海地区協議会ホームページ及びサーバーの維持・管理
2. システム・ネットワーク化アンケートの実施(9月アンケート発送、10月半ば締め切り)
3. システム・ネットワーク化情報交換会の開催(12月)
4. 図書館施設・システム見学会開催準備(2002 年度秋実施予定)
5. 相互協力委員会との連携(合同委員会の実施)

4.2.2 予算

収入 : 東海地区協議会からの交付金 120,000 円
支出 : 会議費 80,000 円
 通信費 20,000 円
 事務費 20,000 円

4.3 東海地区協議会ホームページについて

情報化委員会がレンタルサーバー、ホームページの維持管理に関する主体となる。サーバーメンテナンス、データアップロードは、主担当を決めて行うが、情報収集、ホームページ構成等は全委員で協議していくことを確認した。

レンタルサーバーへのアップロードについて、今回は特に最初なので、アップする新しいHPが出来上がったら、理事校に画面構成やデータ等を確認してもらい、問題がなければアップする。

加盟館のみなさんに委員会活動を知っていただくためにも、議事録をHP上で公開する。

<アップロードの計画>

1. 現状のHPデータをレンタルサーバーに移す。
2. 1ヶ月程度の間、次の2点を準備する
HPに載せるデータ(相互協力委員会の紀要・学内学会誌分担保存資料協定のリストや、第2回研究会の案内等)を準備する。
加盟館に、協議会HPの新しいURLをお知らせする文章を作成する。
3. 2の準備が整ったところで、データのアップロードを行い、「お知らせ」を送付する。

4.4 委員役割分担について

書記：西尾委員、津田委員（委員会各回の議事録作成）

会計：河路委員（出納管理、領収書管理、予算・決算報告作成）

ホームページ担当：三浦委員、扇委員、春日井委員（サーバー管理、データアップロード、HP作成、修正）

アンケート担当：時實委員、森本委員（アンケート項目検討、アンケート発送、回収、集計）

SN化情報交換会担当：古田委員、川上委員（講演者、プレゼン業者選定、会場校との調整者）

* 笹山委員長はすべてに関わる

4.5 システム・ネットワーク化情報交換会について

テーマ、講演者、プレゼンについて、各自、案を考えておく。

7月の第2回委員会で案が出ると良い(第2回委員会で案が出ない場合は9月の第3回委員会で決定し、急遽、講演者やプレゼン業者と折衝する)。

4.6 システム・ネットワーク化アンケートについて

主担当を含め、全委員でアンケート項目を検討する。

7月の第2回委員会でアンケート項目を検討し、9月の第3回委員会でアンケートの発送作業ができれば、定期的に良い。

15:40より相互協力委員会との合同委員会

合同委員会報告

各委員の自己紹介を行い、続いて、両委員会の第3回・第6回に行われる合同委員会の日程・場所について検討し、下記のように決定した。

第3回：9/26(水) 南山大学

第6回：2/[未定] 愛知大学（最終週に開催予定。年明けに確認する）

A. 今年度の活動計画の紹介

A.1 相互協力委員会

- 情報交換会(秋)
- 相互協力事業の推進
- HPの充実
- 紀要・学内学会誌分担保存の充実
- 情報化委員会との連携

A.2 情報化委員会

(上記 4.2.1 参照)

B. 東海地区協議会ホームページについて

情報化委員長から<アップロードの計画>(上記 4.3 参照)の説明があった。

相互協力委員会で、HPに掲載できるよう、1ヶ月程度で準備できるデータは、紀要・学内学会誌分担保存協定のリストや議事録とのことであった。情報化委員長から、紀要・学内学会誌分担保存協定のリストについて、例えばHPのトップページに項目を立てるのかどうか等、どこにデータを置けば使いやすいのか、相互協力委員会内で検討し、意見を出して欲しいとの発言があった。

相互協力委員からは、HPにリンク集も載せたい、協議会の予定を早めにアップして欲しいという意見や、各大学のHPが協議会のHPにリンクするというのも、図書館員のためだけでなく、学生にとっても良いのではないか、という意見が出た。

トップページ、協議会関係、研究会関係、情報化委員会関係については情報化委員会が主体的に関わっていく。相互協力委員会の関係部分については、相互協力委員会の中で、どの程度関わっていくのか(構成・レイアウトを考え、主体的に関わっていくのかどうか)まだ決まっていない。

まずは9月までに、現状のフォームで、議事録等を載せることに決まった。

<相互協力委員会から情報化委員会へのデータの流れ>

相互協力委員会では、HPに関するデータは長坂委員長に集約される。長坂委員長から、情報化委員会の三浦委員にデータの受け渡しが行われる。

以上